

平成29年司法試験 合格体験記

平成24年度修了（既修コース）千葉 隆志

初めまして。法務研究科修了生の千葉隆志です。この度、平成29年度司法試験に合格することが出来ましたので、この場をお借りして、皆様にご挨拶をさせていただきます。

私は、平成23年4月に、法務研究科法務専攻（既修者コース）に入学しました。当時の私は、法律の勉強を始めて1年未満の初学者でした。そのため、毎日、授業の準備に追われ、忙しい日々を送っていました。当時の私の、授業中の発言、レポートの内容等は、今考えてみれば、見聞きするに堪えないレベルのものであったと思います。

このような私に対して、法務研究科の先生方は、とても親切に、かつ丁寧に指導をして下さいました。授業の内容は、非常に分かりやすく、日々、新たな発見の連続でした。先生方が、普段から気軽に声を掛けて下さったことも、学習を継続するにあたって、大きな支えとなっていました。

2年間にわたって、このようなサポートを受けることが出来た私は、平成25年に、法務研究科を修了することが出来ました。関係者の方々に対しては、今でも感謝の気持ちで一杯です。

法務研究科を修了した後は、塾講師のアルバイトをしながら、司法試験の勉強を続けていました。勉強に費やせる時間は限られていたため、司法試験の対策としては、主に、過去問を利用しました。出題趣旨や採点実感を参照しつつ、問題文の読み方、答案の書き方について、自分なりのフォームを固めていく、という作業を行いました。

その結果、司法試験には、4回目の挑戦で合格することが出来ました。時間は掛かりましたが、なんとかスタートラインに立つことが出来、ホッとしています。

修習地は、岡山に決定しました。岡山の皆様にお目にかかる機会もあるかと思います。その際には、是非とも、お気軽にお声かけいただければ幸いです。

最後に、法務研究科関係者の皆様に、改めてお礼申し上げますこととし、結びの言葉とさせていただきます。本当にありがとうございました。